

## 大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	7
2. 大学等名	崇城大学
3. テーマ	I. アクティブ・ラーニング
4. 取組学部等名	工学部（機械工学科、ナノサイエンス学科、建築学科、宇宙航空システム工学科） 情報学部（情報学科）、生物生命学部（応用微生物工学科、応用生命科学科） 芸術学部（美術学科、デザイン学科）、薬学部（薬学科）
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（398文字）
<p>本学では、グローバル技術者育成を目指し、22年度より15名に及ぶネイティブ教員による英語教育施設(SILC)を立ち上げた。また同時にアクティブ・ラーニングのためのSelf-Access Learning Center(SALC)を設置して教員を配置し、独自の英語教育自律学修プログラムを構築してきた。全学学生数約3,500人の内、SALC利用者数は4年目で当初の10倍以上の約18,000人/年まで増大し、学生の自律学修マインド育成に貢献してきた。そこで本事業では、このSALCで培ったノウハウを全学に普及させるために、本学アクティブ・ラーニングの拠点となる全学SALC及び学科SALCを設置する。また、これらのSALCにおいて、個々の学生の自律学修を促し各専門科目の講義と図書館利用を連携させるファカルティーデベロッパーと学生ファシリテーターの育成を目指す。さらに学生証をICカード化し、図書館の入退館システムと連動させて、学生の自律学修時間を把握し、単位の実質化をはかる。</p>	